



# 健康ひとくちメモ

経営者・従業員のための



(公財) 福井県健康管理協会  
がん検診事業部副部長  
野尻 幹子

コロナ禍でも定期的に検診を受けることが必要です

2人に1人が、がん罹患する

日本人の2人に1人が、生涯のうちにかんに罹患すると言われていす。また、がんは死亡原因の第1位であり、がんによる死者数は年間37万人を超える状況です。

がんによる死亡数を部位別に見ますと、男性の第1位は肺、次に胃、大腸、膵臓、肝臓となっており、女性の第1位は大腸、次に肺、膵臓、乳房、胃となっています。

日本のがんの死亡率を諸外国と比較すると、大腸がん・子宮頸がんが高くなっている現状です。(国立がん研究センター がん統計)

定期的に検診を受けることが必要

ほとんどの場合、がんの初期のうちには自覚症状がありません。がんは早期発見・早期治療により、がん診断された時から5年の生存率は、9割以上あることが分かっています。定期的にかん検診を受けて、早期に発見することが大切です。

新型コロナウイルスの感染拡大によりがん検診の受診者数が減ったと言われていますが、コロナ禍において

でも、検診を受けることが必要です。ご自身の命を守る貴重な機会を逃さないでください。

検診会場の感染対策は万全です

検診会場においては、マスク着用、消毒、換気、密になることを避けるなど感染対策を十分に実施しておりますので、安心して検診をお受けください。

検診結果を受取った後が大事です

検診を受けておしまいでありません。検診結果が届き、要精密検査となった場合、必ず精密検査を受けてください。異常なしの場合は、継続してがん検診を受けましょう。定期的な受診間隔は、下記のとおりです。

また、異常なしであっても、検診後に自覚症状があった場合には、医療機関を受診し検査を受けることが必要です。

早期にかんを見つけるために定期的に検診を受けましょう！

## 国が推奨しているがん検診

(市町の検診)

	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
検査方法	胃X線検査	胃内視鏡検査	胸部X線検査	便潜血検査	子宮頸部擦過細胞診	乳房X線検査
対象年齢	50歳以上 ※当分の間40歳以上	40歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上	40歳以上
受診間隔	2年に1回	2年に1回	1年に1回	1年に1回	2年に1回	2年に1回